



HAGIWARA TIMES

ペケレバツ川本流治山工事／北海道横断自動車道 陸別町 日宗北道路改良工事

Vol. 89
2024.

10



●スリットダム設置状況 令和6年6月28日撮影



●現場全景 令和6年8月21日撮影

ペケレベツ川本流治山工事

北海道横断自動車道 陸別町 日宗北道路改良工事



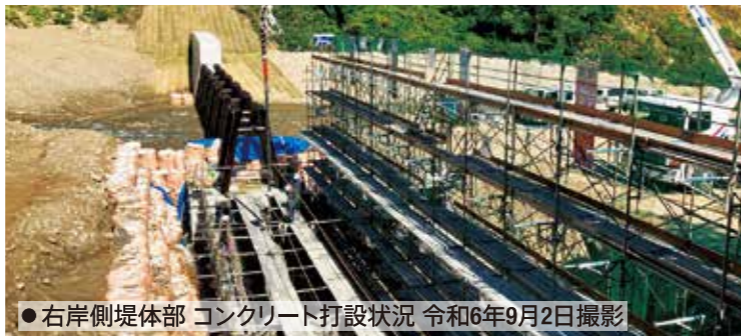
●谷止工 左岸側掘削状況



●スリットダム部 コンクリート打設状況



●左岸側 堤体・スリットダム完了



●右岸側堤体部 コンクリート打設状況 令和6年9月2日撮影

- 施工場所：上川郡清水町
- 施工業者：萩原建設工業株式会社
- 施工期間：令和6年3月5日～令和7年1月20日

- 発注者：十勝西部森林管理署
- 進捗率：70%(令和6年9月10日時点)

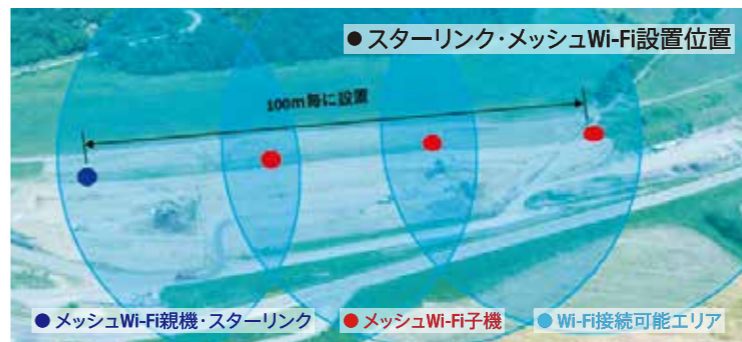
土木

本工事は、国土強靱化対策事業として平成28年の台風による豪雨災害で荒廃した急峻な渓流に、谷止工を設置する工事です。

主な工事内容は、コンクリート谷止工1基(コンクリート量1,547m³、スリットダム22.48t)となり、雪解け後の4月中旬より起工測量を行い、ゴールデンウィーク明けから河川を切替え、5月中旬より左岸側本体の掘削を開始しました。掘削時は大きく固い転石が多く難儀しましたが、7月中旬には左岸側の堤体およびスリットダムを完了させ、現在は右岸側堤体部の施工中です。

工事を安全に進めていく上で、大雨による被害を最小限に抑える施工手順や河川切替えなどの計画・実施、ならびに緊急時における迅速な対応に重点を置き施工を進めてきましたが、これからも気象情報には十分に留意し、現場の環境・整備を整え、無事故無災害で工事を完成させたいと思います。

現場代理人・監理技術者：久古 欣秀／担当技術者：下 邦彦



●メッシュWi-Fi親機・スターリンク ●メッシュWi-Fi子機 ●Wi-Fi接続可能エリア



●土砂掘削・積込状況



●AI画像



●ダンプAIバックホウ視点

- 施工場所：足寄郡陸別町
- 施工業者：萩原建設工業株式会社
- 施工期間：令和6年4月1日～令和7年3月28日

- 発注者：北海道開発局 帯広開発建設部
- 進捗率：53%(令和6年8月末時点)

本工事は、北海道横断自動車道の陸別町日宗地区において工事延長L=1,220mの区間で土工を主とした土砂掘削・運搬工事です。

現場のほぼ全域が携帯電話の不感地帯であるため、衛星インターネットサービスとメッシュWi-Fiを使用した大規模ネットワークを構築し、遠隔臨場やICT施工を円滑に行える環境を整えるとともに、AI画像解析を活用してダンプトラックの運行を自動検知し、施工状況の見える化を行うことで、積込重機オペレーターへの通知による隙間時間の有効活用など、施工段取りの最適化を図り生産性向上を目指しています。

また、土砂運搬の施工にあたり国道を主要道路として使用するため、工事箇所出入口および一般道における交通事故がないよう一般車両を最優先に運行管理して行きます。さらに、周辺環境への配慮も怠らないように、安全第一で取り組んで行きます。

現場代理人：三谷 大輝／監理技術者：奥村 祐介／担当技術者：千葉 百華



土木



令和6年8月5日から9日まで、今年で4回目となる「tokachi field action Lab(トカチ フィールド アクション ラボ)」プロジェクトに参加しました。

産業能率大学 経営学部 倉田ゼミ3年生12名が「相互理解の醸成」をテーマに、中間層の社員が少ない弊社における社内コミュニケーションの現状と問題点の分析を行いました。

学生たちは6月からオンラインミーティングを開始し、7月に全社員アンケート調査を実施。8月には実際に現場見学や社員とのディスカッションを行い、最終日に分析結果を弊社役職員へ向けてプレゼンテーションしました。その内容は、世代や文化(国籍)が多様な弊社社員における、意思疎通や報連相といったコミュニケーションの質はどのレベルか、課題は何かなど第三者による客観的な現状分析が報告されました。このような取り組みは、学生の質問力、表現力、洞察力、クリティカルシンキングなどの能力向上に寄与すると同時に、企業にとっても客観的な視点を得る貴重な機会となっています。頂いた提案を基に、社内外のコミュニケーション改善に努め、より一層の会社の発展を目指して邁進していきます。

本プロジェクト詳細は公式ホームページのニュースリリースに掲載していますので、ぜひご覧ください。



📷 今月の表紙

撮影: 萩原建設工業 営業部・仁藤 正憲

今月の表紙は浦幌町の常室川と立ち枯れの木です。秋になると見に行く景色です。場所は浦幌町の街中を抜け、国道56号本別浦幌線を本別に向けて走ると、左手に旧常室小学校のTOKOMURO Labがあり、そこから右折して浦幌炭鉱跡に続く道道500号音別浦幌線に入ります。浦幌炭鉱手前に2カ所ほど常室川の溜まりがあり、そこに水没して立ち枯れた木が紅葉し、美しい景色を作ります。立ち枯れの風景は美瑛町の青い池が有名ですが、浦幌町のこの景色もなかなか風情があります。その先にはかつて約3,600人も人が生活を営んでいた集落の跡地があります。浦幌炭鉱の閉山から今年で70年経ちますが、その歳月はこんなにも街の跡を自然に戻すのかと驚きます。秋のドライブにノスタルジーな異空間を味わってみませんか。



十勝に特化した採用マッチングWEBサービス

TCRU

ティクル

年間 **198,000円** 使い放題

7つの使い勝手!

求人掲載が無制限
(契約期間/年)

記事掲載が無制限
(契約期間/年)

250人以上の登録者を
閲覧&スカウト

応募率7割!
マッチング率が高い!

幅広い募集!
正社員以外は紹介料ナシ!

月間PV7万回
十勝No.1閲覧数!

AI導入!最先端で
手厚い支援!

問い合わせ 株式会社スマヒロ TCRU担当 松村・伊藤 info@sumahiro.com 詳しくは右QRコードよりご確認ください→



2024年10月号 / HAGIWARA TIMES vol.89
萩原建設工業株式会社

バックナンバーは当社HPよりご覧ください。

http://www.hagiwara-inc.co.jp/

〒080-0807
北海道帯広市東7条南8丁目2

TEL.0155-24-3030

